

分類 番号	A2	取組 名称	綾部市君尾山光明寺の総合調査 —“森の京都”における文化資源の発掘と活用
研究代表者所属・職名：		文学部・教授	氏名： 横内 裕人
研究担当者：			
京都府立大学（岸泰子、山岸常人） 外部分担者・協力者（熊内久志氏、三好博喜氏）			
主な連携機関（所在市町村、機関（部署）名）			
京都府綾部市教育委員会、奥上林地区自治連合会			
【研究活動の要約】			
君尾山光明寺の所有する文化財について 2 度の現地調査を行った。第 1 回目（6 月 20 日）は、予備調査として、建造物（二王門、本堂）・古文書の概要を把握し、本格調査の準備を行った。第 2 回目（8 月 22 日から 24 日）は、建造物（二王門、本堂、行者堂）の構造調査・建造物に付属していた木札・石造品を調査撮影するとともに、古文書を調査し、全点について撮影を行った。その後、撮影したデータを利用して、古文書の調書作成・翻刻作業を行った。			
【研究活動の成果】			
文化財について総合的な調査を行う事により、学術的なデータを集積する事ができた。まず建造物については、構造・木材等の調査の上、平面図と木札類の法量・銘文等の調書を作成し、画像データを集積した。古文書については、調査の結果、全 415 点の文書を確認した。これらについてすべての写真を撮影し、目録を作成した。その中でも特に重要な文書については、翻刻を行い、一般の方が利用できるような環境を整えた。			
平成 30 年度、建造物調査と古文書調査を並行して行うことにより、建造物の建立・維持修理に係る新知見を得ることができ、また建造物に付属する木札の調査によって、古文書に記録された勸進事業の背景等を知ることができた。			
今回作成した木札・古文書の目録と写真データは、同寺の文化財台帳や、文化財の公開・活用の際に利用できる基礎的情報として活用が望まれる。			
【研究成果の還元】			
H30.11.18 君尾山光明寺 参加者約 500 人 「鐘楼・鐘撞堂完成報告会」「蘇った文化財に触れ合う会」にて文化財解説の協力			
H31.3.3 奥上林公民館 参加者約 80 人 「奥上林公民館大会・アクター成果報告会」			
【お問い合わせ先】 文学部（研究科）横内研究室 横内 裕人 Tel: 075-703-5256 E-mail: yokouchi@kpu.ac.jp			

参考 (イメージ図、活動写真等)



H30. 11. 18 「鐘楼・鐘撞堂完成報告会」「蘇った文化財に触れ合う会」での二王門解説



H31. 3. 3 奥上林公民館大会・アクター成果報告会